

三越伊勢丹支部本社周辺分会 第10期活動方針

■ 第10期分会活動テーマ

「相互理解」と「働き方の見直し」を進め「納得感」が高い職場風土を作って行こう！

■ 第10期後半(2023年10月～2024年9月)重点取り組み

【全体】上期から継続してスタッフ部門ならではの職場のコミュニケーション改善・業務改善についての課題抽出及び必要に応じた打ち手の実施
 【チーム】分会の活動方針を進めていくために、個々のチーム毎の目標イメージを共有しコミュニケーションを深め、役員一体となってメンバーをサポートしていく。

■ 第10期後半(2023年10月～2024年9月)活動目標

現場活動 ※最大2つ	・コミュニケーションの在り方の好事例共有や違う職場同士の認知を深めることで兼任役員の知見を広げ各々のチームの課題を抽出し労使に繋げる
経営対策 ※最大2つ	・前期からの取り組みを進め、スタッフの人員削減の中での働き方のチェックと業務改善の進捗を把握し経営に伝えていく（業務の削減・働き方など）
広報活動 ※最大2つ	・懇話会の内容やコミュニケーション・業務改善の好事例共有・労務知識の啓発を図ることで役員やメンバーが各々で仮説を立て課題解決に至れる土壌を作る ・兼任役員からメンバーへの発信力の強化とメンバーの組合活動への理解を推進するための啓発活動を進める。



■ 目標に向けた具体的なアクション

現場活動	【全体】①広報紹介・職場委員会にて、分会軸の「職場内コミュニケーション」（役員⇔メンバー・メンバー同士）「業務改革」（会社のチェック・グループ連邦の理解）の改善にむけた観点における、他所属の事例の共有や意見交換をおこなう ②メンバーの安心感向上といち早く職場問題を察知し顕在化させるためにメンター活動の普及を行う。そのために多くの拠点での活動の周知を行い、役員が傾聴（メンター）について学べる機会をつくる。 【チーム】各チーム内においても、分会軸の2つの観点でチーム内の課題の仮説を立て、改善に向けたVOICEサイクルを行う（チーム職場委員会は最低でも2カ月単位）	<備考> ・全体職場委員会は分会独自議題で6回 ・チーム職場委員会は2カ月単位
経営対策	①各チームにおいて、現場活動で顕在化した課題改善に向けて、半期に一度のVOICEサイクルの「（経営に）伝える」活動をおこなう ②執行委員会での分科会や隔月での全体職場委員会にて「業務改善」の進捗や好事例を確認し、支部経営対策担当につなぐ	<備考> 半期に1度のチーム毎の労使でのやりとり
広報活動	①【役員内】分会役員とのTEAMSでの情報共有体制の強化（強化ポイント：専従が全役員（62名）の職場取材&役員teamsへアップし、役員の他所属認知を深め、相互のコミュニケーション向上につなげる *週に一度） ②【メンバー向け】VOICEサイクル「（メンバーへ）知らせる」活動として、好事例共有・経営対策報告などを他所属認知や相互のコミュニケーションを高めるために広報物として発刊する（四半期に一度）	<備考> ・週1頻度のTEAMS更新 ・四半期に1度の広報発刊
その他 ※必要なら記入	・第2職場区（出向者）に関しては前半期の中で課題抽出のためのスキーム作り。労使で共有することがあれば都度他支部との連携を図る。 ・役員の組合活動の高位平準化を図るために「本社周辺分会活動マニュアル」の作成と活用トライアルをおこない、必要な情報と活動方法の好事例をストックしていく（属人的にならない活動へ）	<備考>